



## 19. シラウオ *Salangichthys microdon* Bleeker

図版 6

英名 Japanese icefish, shirauo icefish, glassfish, whitefish

露名 ラフシャルイバ サランクス  
лапша-рыба, саланкс

地方名(北海道) シラオ

漢字 しらうお  
白魚

アイヌ語名 ライライチェブ

【形態】 体形は細長く、頭は縦扁<sup>じゅうへん</sup>\*し、脂びれ<sup>あぶら</sup>\*を持つ。生時および死んだ直後の体は半透明であるが、後に白くなる。雄の尻びれ基底\*の上には16~18枚の吸盤状のうろこが1列に並ぶが、雌はすべてのうろこを欠く。稚魚\*期の特徴を保ったまま成魚\*となる幼形成熟\*する魚種の一つである。

成魚では、雄は雌より大きくとがった胸びれ、腹びれおよび尻びれを持つ。さらに雄は尻びれ基部が下方に突出し、肛門直上にある黒色斑<sup>はん</sup>がやや大きいなど、雌雄の判別は容易である。成熟\*した雌の卵巣は体外からは白い塊として認められ、卵巣重量は体重の20~30%に達する。一方、精巣重量は雄の体重の1%に満たない。体長\* 8~9 cm。ふつう雌の方が雄よりもやや大きくなる。

同じ属\*のイシカワシラウオ *Salangichthys ishikawae* は東北地方の太平洋沿岸に分布し、北海道では確認されていない。イシカワシラウオの体長は6 cm台と小さく、さらに雄のうろこも23~29枚でシラウオとは異なる。その



る海水の内部や河口周辺の沿岸域に分布し、成長する。小型甲殻類や仔魚などを食べる。寿命は満1年である。